

温室効果ガス排出量 検証報告書

2023年7月10日

大同特殊鋼株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター
上級経営管理者 平川 雅宏



1. 検証の対象及び目的

大同特殊鋼株式会社（以下「事業者」という。）が作成した国内事業所^{*1}（以下「算定対象」という。）における排出量算定結果「2022年度算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2022年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の以下の温室効果ガス（GHG）排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ1 GHG 排出量

算定対象においてエネルギーの使用に伴って直接的に排出されるエネルギー起源 CO₂ 排出量及び、工業プロセスに伴って直接的に排出される非エネルギー起源 CO₂ 排出量

2) スコープ2 GHG 排出量

算定対象において電力の使用に伴って間接的に排出されるエネルギー起源 CO₂ 排出量

3) スコープ3 GHG 排出量

事業者の事業活動におけるスコープ3 カテゴリ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 13^{*2} において排出される CO₂ 排出量

検証の目的は、算定方法^{*3}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し GHG 排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された GHG 排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載の GHG 排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG 排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された 2022 年度の GHG 排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

検証された温室効果ガス排出量 (t-CO ₂ e)	
スコープ 1 (エネルギー起源 CO ₂)	366,586
スコープ 1 (非エネルギー起源 CO ₂)	56,103
スコープ 2 ^{※4}	457,276
スコープ 3 ^{※5}	1,450,966
スコープ 3 内訳	
カテゴリ 1	1,135,720
カテゴリ 2	40,940
カテゴリ 3	191,485
カテゴリ 4	56,464
カテゴリ 5	16,740
カテゴリ 6	1,505
カテゴリ 7	3,263
カテゴリ 13	4,849

NOTE:

※1：知多工場、知多第2工場、星崎工場、渋川工場、築地テクノセンター、君津工場、王子工場、滝春テクノセンター、中津川先進磁性材料開発センター、本社、東京本社、大阪支店、福岡営業所

※2：スコープ 3 のカテゴリ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 13

- カテゴリ 1 (購入した製品・サービス)：事業者が購入した原料・資材などを対象
- カテゴリ 2 (資本財)：事業者の設備投資の固定資産を対象
- カテゴリ 3 (スコープ 1, 2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動)：算定対象で使用した燃料、電力を対象、なお、再エネ由来の電力を排出量ゼロで算定
- カテゴリ 4 (輸送、配送 (上流))：(原料・資材・仕掛品・製品の) 国内・海外の陸上、海上輸送、及び、国内鉄道輸送を対象
- カテゴリ 5 (事業から出る廃棄物)：事業者から出る産業廃棄物を対象
- カテゴリ 6 (出張)：事業者の従業員を対象
- カテゴリ 7 (雇用者の通勤)：事業者の従業員を対象
- カテゴリ 13 (リース資産 (下流))：事業者の敷地外にての土地貸し(リース)を対象

※3：スコープ 1, 2, 3 の算定方法：「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.5)」、「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (ver.3.3)」、「LCI データベース IDEAv3 Ver.3.3(スコープ 3 カテゴリ 1, 3 に使用)」及び、事業者が作成した「大同スコープ 3 算定値 諸元まとめ」

※4：電力の排出係数：電気事業者別調整後排出係数 (R3 年度実績：R5.1.24 環境省・経済産業省公表、R5.5.26 一部修正版) を使用

※5：スコープ 3 の値(t-CO₂e)は各カテゴリの小数点以下も含めた t-CO₂e の合計値

以上